

# グリーフサポートせたがや 2017年度活動報告

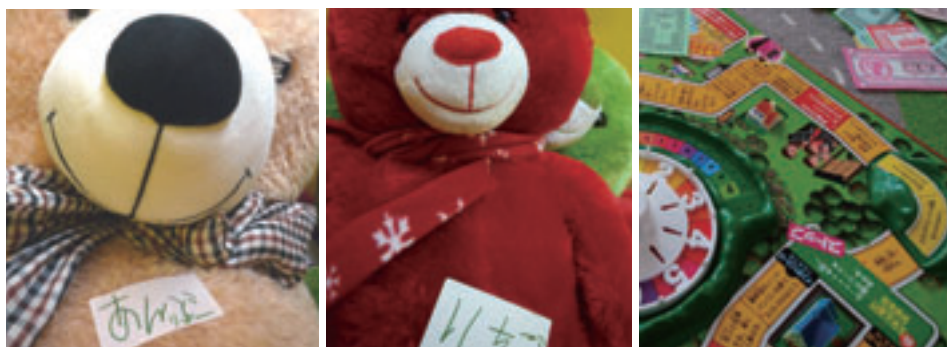


活動期間  
2017年7月1日～  
2018年6月30日

2017年はグリーフサポートプログラムへの子どもたちの参加人数が増えてきました。学校や病院などの紹介で子どもプログラムに参加された方もいらっしゃいました。世田谷区グリーフサポート事業の補助金を受けながら、個別相談や電話相談、連続講座を確実に開催することができました。サポコミュカフェは、どなたでもサポコハウスでお過ごしいただける機会になっています。また、古本で寄付ができる「ありがとうブック」、お寺からのお菓子の寄付「おてらおやつクラブ」への登録を行ない、多方面からのさまざまな支援をいただけるようになりました。

## サポートプログラム

子どもプログラム、大人プログラム、パートナー死別ピアサポートプログラムの参加者数は、子どものべ82名、大人のべ160名、参加したファシリテータのべ196名でした。



## ファシリテータ養成講座

2017年度は2回のファシリテータ養成講座を開催し、参加者は15名（うちファシリテータ登録は10名）でした。



## 個別相談

個別相談の来談者はのべ67名でした。電話相談の利用者はのべ40名でした。個別相談は世田谷区グリーフサポート事業の補助により初回は無料です。電話相談は、毎月第1日曜日 午後3時～5時、第3水曜日 午後6時～8時に行っています。個別相談は予約制です。相談員は年6回、専門家によるスーパーバイズを受けました。



## サポコミュカフェ

サポコミュカフェは参加者のべ75名でした。メニューは夏野菜カレーやパンプキンスープ、そうめんなど、季節感にあふれる工夫をしました。



# いつもご支援ありがとうございます！

「グリーフサポートせたがや」の活動はすべてボランティアと助成金で行っています。皆様からの賛助会費やご寄付は、サポートプログラムや、サポコハウスの運営費として大切にさせていただいております。

## 講座・ワークショップなど

全3回にわたる連続講座「いま」を生きる グリーフとともに」を実施しました。連続講座の講演録を発行し情報発信を続けています。また、「在宅チーム医療栄養管理研究会」「がん患者支援ネットワークに先立つ懇話会」への参加など、グリーフサポートせたがやの活動を発信する依頼も増えてきました。



## サポコハウスへのお客さま

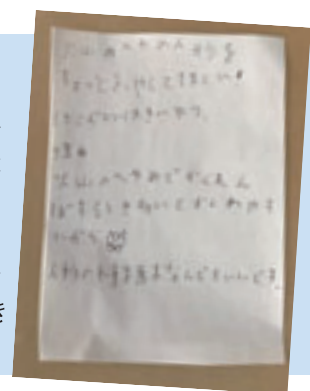
グリーフサポートせたがやがモデルとしているオレゴン州ポートランドにある「ダギーセンター」からJoanさんがサポコハウスに遊びにきてくださいました。ファシリテータ養成講座にご協力いただいているあしなが育英会東北事務所所長の西田正弘さんと一緒にパチリ。これからも、グリーフサポートの場をともに作り、学びあえる個人・団体とつながっていきたくて考えています。



## ご寄付をお願いします！

グリーフサポートせたがや「サポコハウス」では、子どもたちが遊ぶぬいぐるみやおもちゃ、特にシールなどの消耗品、大人や保護者の方のサポートプログラムやサポコミュカフェで使用する、給湯ポットなど必要な物品の購入の為にご寄付をお願いしています。詳しくは、<http://sapoko.org/support/> 活動に賛同いただける方からの継続的なご支援方法としての賛助会員は、

◆個人 1口 5,000円 ◆団体 1口 10,000円（年会費 毎年7月1日から翌年6月30日）1口以上何口でも大歓迎です。また、ありがとうブックさんにいらなくなった本やCD、DVDを送ることでご寄付できます。詳しくは、<https://www.39book.jp/>



## 2017年度決算報告

### 2017年度収支報告(2017年7月1日～2018年6月30日)

収入		支出	
会費	390,000	グリーフに向き合うスペース運営事業	4,816,710
グリーフに向き合うスペース運営事業	556,000	グリーフに関わる普及・啓発事業	5,451,558
グリーフに関わる普及・啓発事業	1,324,292	管理費	127,241
助成金・補助金	4,691,200	次期繰越	△151,900
寄付金	3,282,079		
利息	38		
<b>収入合計</b>	<b>10,243,609</b>	<b>支出合計</b>	<b>10,243,609</b>

※グリーフに向き合うスペース運営事業とは、個別相談、ファシリテータ養成講座にかかる事業。グリーフに関わる普及・啓発事業とは、講座、ワークショップにかかる事業